



鉄黒コート&無人ヘリで WCS用イネの 超省力湛水直播

栃木・五月女文哉

県内初の無人ヘリ湛水直播

私は関東平野の最北端、那須連山のふもとに位置する大田原市の稲作農家。栃木県で最も稲作が盛んな地域で、近隣の那須地域は全国的に有名な酪農地域だ。飼料イネに交付金がつくようになったのを機に、稲作農家と酪農家がうまくマッチングしてWCS用イネの栽培が盛んになっていった。

私も、以前はムギやタイスで生産調整に応じていたが、近くの酪農家さんと契約し、WCS用イネを10haに

増やしてみることにした。

でも、いざ増やすといっても、育苗ハウスも足りないし、そもそも苗の管理だって大変……でもしょうがない、頑張るしかない！と思っていたら、神が現われた！無人ヘリを扱う「栃木スカイテック㈱」社長である。「鉄コートイネ」直播つてのがあるんだけど、どんなものなのか実証実験してくれないかな？」と天の声をかけてもらい、やってみたのが9年前。栃木県では初の試みである。



徐々に超省力栽培へとシフト

最初の年はものすごくうまくいった。発芽は良好、雑草も倒伏もなく、収量も通常の移植栽培と遜色ない、100点満点の出来だった。でも、必要以上に圃場を見に行ったり、除草剤も3回まいたり……手間暇かけすぎてるなという印象。

せつかくの直播なのにつてことで、次年度からは徐々に超省力化。催芽なしの生モミのままコーティングし、水の見回りも結構適当で、除草剤は1〜



コーティング作業。モミ重量1に
対し、黒顔料0.25〜0.5(品種
による)と結合剤(バインダー)
の消石灰でコーティングする



鉄黒コート用の黒顔料と
結合剤の専用消石灰。㈱
華玉(TEL045-212-1661)
が製造・販売を行なう



被覆処理後、しばらくたった
鉄コーティングと鉄黒コー
ト。酸化して赤っぽくなる鉄
コーティングに対して、鉄黒コ
ートは黒いまま

2回。品種も耐倒伏性の飼料イネ向き品種「たちすがた」に変えてみた。

でも、無加温の生モミにコーティングしたら発芽不良になったり、水分調整がうまくできず、モミがくつついて重おこしみたいになったり……少なからず失敗も経験もした。

コーティング後の酸化処理も面倒だ。処理後にブルーシートへモミを広げ、水分を補いながら1週間ほど酸化・放熱させることが必要。でも、たくさん作れば場所もとるし、処理中に近所のネコがトイレと勘違いしておしっこしたこともあった。ウチじゃないけど、まだ冷めてないモミを袋にしまって、煙が出てホヤ騒ぎを起こした仲間も……これはシャレにならない。

酸化処理不要の鉄黒コート

面倒な酸化処理だけ、頑張るしかない！と思っていたら、また別の神が現われた！今度は見たことも聞いた